

2023年11月21日

# 第6回 脱炭素ワーキンググループ

## 2. EXPOグリーンチャレンジについて

2025年日本国際博覧会協会  
持続可能性部脱炭素課



# EXPOグリーンチャレンジ概要

「万博をきっかけ」として脱炭素の取組を  
「EXPOグリーンチャレンジ(GC)」と名づけ、  
取り組みを大阪・関西から広げていくことを目的とする



大阪・関西万博来場者の皆様への歓迎の気持ちを込めて、  
来場者由来の排出量削減を目指した取り組みを行う

ラストワンマイル排出量相当の削減を第一目標

取り組みを全国に拡大⇒来場者由来の排出量相当の削減を最終的な目標

## 来場者（約2,820万人）由来のものをはじめとした温室効果 ガス排出量（SCOPE 3）推計

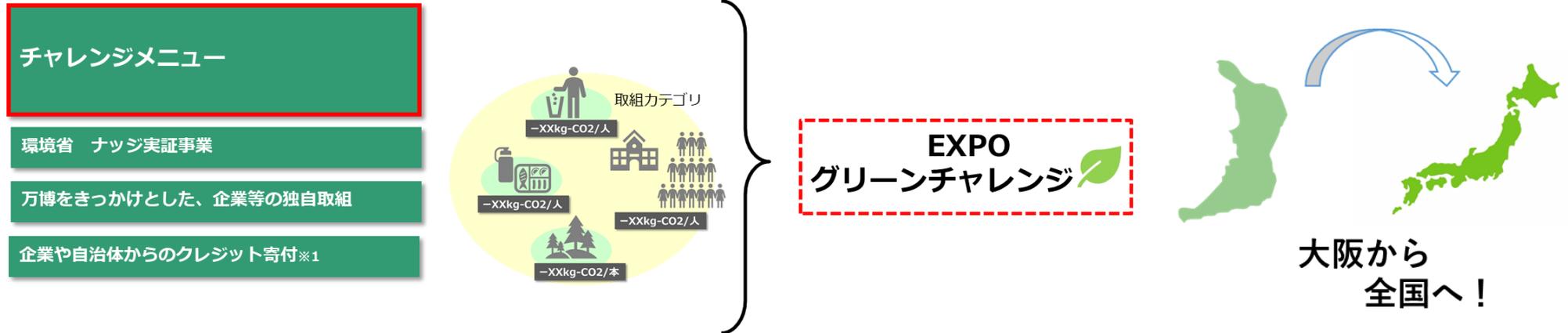
来場者のラストワンマイル※排出量	<b>5.7万t</b>
来場者の移動・宿泊にかかる排出量	<b>293万t</b>
来場者や建設等にかかる排出量	<b>411万t</b>

※ラストワンマイル・・・万博来場への最後の交通手段  
(参考：大阪府における一年間の排出量推計 4,395万 t (2020年度))



# EXPOグリーンチャレンジ チャレンジメニューの内容

EXPOグリーンチャレンジのチャレンジメニューとは、個人の脱炭素行動によるCO<sub>2</sub>削減量をアプリを通じて可視化し、万博会期前から取り組めるようにするもの。個人が活動しやすい環境を整えるために企業や学校、自治体などと連携していく。



## チャレンジメニューの例

家庭系廃食用油 リサイクル※2	マイボトル	省エネ行動	ごみ拾い	食べ残しゼロ
旅行	宿泊先でのマイ歯ブラシ利用 (ホテルなどのプラ削減)			

※1 クレジットなど第三者認証機関の認証を得ているものに関しては、万博におけるGHG排出とのオフセットとして活用する。  
 ※2 廃油から精製した高純度バイオディーゼルを、会場内や会場建設建機で使用することで、万博におけるGHG排出量の削減に貢献します。  
 当該資料は2023年10月時点でのものであり、今後変更となる場合がございます。



# EXPOグリーンチャレンジアプリ

チャレンジメニューに取り組んで頂く為のアプリを構築

⇒ 一般社団法人JAPANゼロカーボン・スマートシティ・ファウンデーション (JaZCaF)が協賛

大阪府・関西広域連合を中心に展開 会期後はJaZCaFで運用

金銭的価値を持たないポイント⇒ポイントをためて抽選に参加、当選すれば商品がもらえる

⇒アプリは来年1月に稼働開始予定。普及に当たっては自治体や企業と連携していく。

大阪府・関西広域連合のエリアを中心に展開



# チャレンジメニューの個別内容

## CO<sub>2</sub>削減量は早稲田大学 伊坪研究室にて監修

チャレンジメニュー	取り組み内容詳細
家庭系廃食用油の回収	各家庭で使用済みとなった廃食用油を、ペットボトルや専用ボトルに入れてリサイクルBOXへ持参する。持参したらQRコードを読み取ることにより、ポイント付与。回収された廃食用油は、BDF（Bio Diesel Fuel）やSAF（Sustainable Aviation Fuel）等によりリサイクルする。
マイボトル	テイクアウト飲料購入に際してマイボトルを使用する行動や、ペットボトルなどに入った飲料を購入せずにマイボトルへ給水する行動などのペットボトル使用削減行動を対象とし、自己申告にてポイント付与。
省エネ行動	全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）が全国の59の地域センターを通して行う、うちエコ診断に参加したらQRコード読み取りでポイント付与。
食べ残しゼロ	個人を対象に、飲食後の食べ残しゼロに対する行動を対象とする。自己申告制とし、幅広く取り組みを呼びかける。
ごみ拾い	海洋や街中等において、ごみによる汚染防止に取り組むために、落ちているごみを拾い、川、海への流出を防ぐ。イベント参加（規模問わず）による取り組みを対象とし、参加後自己申告によってポイント付与。
旅行	大阪府が実施している脱炭素化ツアー事業と連携し、カーボン・オフセットの仕組みを取り入れた旅行や、温室効果ガスの排出量の少ない旅行（主に修学旅行を想定）に参加した場合、QRコード読み取りをしてポイント付与。
宿泊先でのマイ歯ブラシ利用 （ホテルなどのプラ削減）	宿泊するホテルの使い捨て歯ブラシを使用せず、マイ歯ブラシを持参したことを自己申告することでポイント付与。

# エコプロ展への出展について

SDGsWeek EXPO 2023  
環境・インフラ・脱炭素 社会課題解決展

**エコプロ**

12月6日(水)～8日(金) 10:00～17:00  
東京ビッグサイト 東4～6ホール 入場無料(登録制)

## 【エコプロ】

持続可能な社会の実現を目指しエコの最前線が集結。1999年の初開催以来、環境に関する次世代技術や製品、サービス、CSR活動、環境保護活動、環境政策、産学官連携などの最新動向を紹介しています。

環境やSDGsに関連する製品、技術、サービスの普及を通じて環境保護、社会課題の解決を図り、持続可能な社会の実現を目指します。

ビジネスパーソンに加え、一般生活者や小中高生から大学生、社内外の若手・Z世代など、多様な来場者とのコミュニケーションを通じ、商談・人的ネットワークやパーパスブランディングの構築、SDGsネイティブとの交流を支援します。

上記エコプロ展において、後援である博覧会協会にて「大阪・関西万博PRブース」を出展することが決定。以下特設ステージイベント等での万博の魅力発信、持続可能な未来社会への取り組み紹介、11/30のチケット販売案内等を行う。

**12月6日(水)14:00～14:40**

大阪・関西万博 特集「大阪・関西万博のグリーンビジョンについて」

・東京大学名誉教授／大阪・関西万博持続可能性有識者委員会委員長 伊藤 元重 氏

**12月6日(水)15:10～15:50**

大阪・関西万博 特集 対談「未来社会ショーケースが示すSDGsの姿」

・プランナー、プロデューサー／大阪・関西万博 会場運営プロデューサー 石川 勝 氏

・国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 スマートコミュニティ・エネルギーシステム部  
燃料電池・水素室 室長 坂 秀憲 氏

**12月7日(木)12:30～13:10**

大阪・関西万博 特集 座談会「パビリオンが実現するSDGs」

・ジャズピアニスト／数学研究者／STEAM教育者／大阪・関西万博 テーマ事業プロデューサー 中島 さち子 氏

・建築家／大阪・関西万博 ウーマンズ パビリオン、パナソニックグループパビリオン リードアーキテクト 永山 祐子 氏

・【ファシリテーター】デザインジャーナリスト 川上 典李子 氏



ミヤクミヤクも参加予定

